

第4章 県政への自由意見

◆県に特に力を入れて欲しいことについて、自由に記述してください。(問3)

【集計の方法】

回答は、内容からA～Oの15項目に分類した。同一の回答者が複数分野にまたがる意見を記入している場合には、項目を分けて別意見として扱っている。

1 自由意見の項目別件数

項番	項 目	件数
A	産業振興、新エネルギー、雇用・労働等に関すること	268
B	農林水産業の振興に関すること	74
C	観光・文化・スポーツの振興等に関すること	133
D	交通ネットワークの整備、地域交通の確保に関すること	79
E	健康、医療、福祉に関すること	119
F	教育、人づくりに関すること	62
G	人口減少対策全般、若者等の県内定着、移住・定住の促進に関すること	132
H	少子化対策、子育て支援に関すること	139
I	男女共同参画、若者・女性の活躍支援に関すること	17
J	地域社会の維持・活性化に関すること	94
K	県土の保全、防災に関すること	16
L	環境保全、自然保護に関すること	20
M	安全・安心な生活環境の確保に関すること	34
N	I C T・科学技術の振興等に関すること	6
O	行政全般に関すること、その他	133
	合 計	1,326

2 自由意見

900人から、1,326件の意見があった。一部を抜粋して掲載する。誤字等は校正しているため、掲載文は回答原文とは異なる場合がある。

A. 産業振興、新エネルギー、雇用・労働等に関すること

- エネルギー戦略（太陽光・風力発電・地熱など）に対する専門性のある人材が不足している。（男性／30歳代／由利地域）
- 開業資金が借りやすい条件への改善。現状では採算が見込める案件のみで、借りづらい案件もあるのではないかと思います。（男性／20歳代／平鹿地域）
- 暮らしやすさを求めると、やはり経済的基盤が確立されていることではないでしょうか。雇用の安定による将来の生活への安心感で人口も増え、自殺者も減ってくれるのではないのでしょうか。自然の素晴らしさ、人間の素晴らしさはどこにも負けないのですから、秋田はもっと良くなるはずです。旅人がホッとする秋田は、住んでいる人もホッとできる空間でなくては。机上の空論ではなく、実現できることから始めてください。（女性／60歳代／由利地域）
- 契約社員や派遣社員を早く正社員にするように、行政指導してもらいたい。これも結婚できない一因ではないかと思えます。（男性／70歳以上／雄勝地域）
- お金を県外に出さない経済をつくる。（女性／10歳代／雄勝地域）
- もっと若者の興味を引くような商業施設を増やさないと、若者はどんどん県外に出て行く。賃金が安いのも、問題なのではないか。（女性／30歳代／北秋田地域）
- 若者が希望するようなIT企業や工場を誘致するか、起業する人を育てることが必要と思います。県としても、もっと真剣に検討していただきたい。シリコンバレーとまでは言いませんが、研究部門や開発部門を県内に誘致することを考えてほしいです。若者が希望ある企業に就職すれば、家族もでき、安心して定住し、活力も生まれてくると思います。（男性／70歳以上／由利地域）
- かつての鉱業県を生かした金属・リサイクル等の一大産業化の推進（男性／60歳代／由利地域）
- 若者が県内に残れるよう力を入れてほしい。既存の企業の倒産件数を少なくしてほしい。県で経営アドバイスや投資などを積極的にし、従業員を確保又は増員できるよう努力してほしい。まずは、今ある企業を大切に考えてください。（男性／50歳代／由利地域）
- 新事業をやる上での支援をもっと充実したらいいと思います。事業を立ち上げるとき、どうしてもお金の問題が出てきます。融資を受けても、1年後からの支払いなどができるのであれば、新事業をやる人も増えて

くるのでは？（男性／50歳代／雄勝地域）

- 優秀な人材は育ちますが、秋田では活躍の場が少ないと思います。秋田で働いていても収入が少なく、子どもを産むことができない夫婦も多くいます。目先のお金ではなく、ある程度安定した経済基盤が必要です。つまり、働く人の処遇改善や成長産業への投資に力を入れてほしいです。（男性／30歳代／秋田地域）
- 秋田県は就職率という数字ばかりを出しているが、離職率は？ 就職率が上がっても、その人たちの離職率はどうなっているのか。どうして離職してしまったのかという原因を表に出しているのか。企業側の問題が多いということは理解しているのか。もう少し、企業側のブラック就業の内情をあぶり出し、改善させ、その上で企業相談会等を開き、若者を定着させてほしい。（女性／50歳代／秋田地域）
- 太陽光・風力・地熱・波力と、自然エネルギー利用は本県にとって有利な条件が揃っている。日本でも唯一の掘削技術を持った鉱山学科のある大学があるので、「地熱発電特区」に認定を受ける努力をし、学部にも事業に参加してもらい、官民一体の事業として県が主導していけたら良いと思います。（男性／70歳以上／秋田地域）
- 私の働いている職場は育児休業がありません。女性に対する態度も、男性に対する態度と同じように感じます。残業もとても多く、プライベートの時間がありません。残業もほとんどサービスなのが現状です。また、有給休暇を取らせてもらえず、休みがありません。基本給もとても低く、一人暮らしだと、自由に使えるお金がありません。職場の環境がとても悪いと思います。もう少し改善されるとうれしく思います。（女性／20歳代／秋田地域）
- 職がないと思う。選ばなければあるが、学校で学んだこと、秋田以外の地域で経験したこと、ノウハウを活かせる仕事がないと思う。あったとしても、昔ながらの企業（休日があってないような会社や、女性の評価が低い会社）。誘致してほしいとまでは言わないが、もっと幅広い業種が秋田であれば良いのと思う。（女性／20歳代／秋田地域）
- 規制緩和による産業振興など、経済の活性化。（女性／20歳代／秋田地域）
- 風力発電が増えても、県民にメリットが感じられない。電気料金を下げるなど、見えるメリットを提示してほしい。電気料金が下がれば、市場との距離が遠くても、秋田に進出する企業があると思う。（男性／40歳代／秋田地域）
- 県内に就業しても賃金が安く、生活がとても大変です。この賃金が安く大変な生活が続くと、子どもを産み、育てる自信がありません。いつもギリギリの生活をしていると、笑顔がなくなり、「うつ」になり、自殺となりやすく、人口減少になり、若者は少しでも賃金が高い県外へ出て、また減少・・・と、悪循環になっていると思う。是非どこの会社も、「賃金が良いから秋田へ住もう！」と思うくらい賃金を上げてください。（女性／10歳代／仙北地域）
- 雇用環境の整備を徹底してほしい。定年退職者の継続雇用、人件費削減等、要因は様々あると思うが、企業

に対して県が積極的に雇用促進をはたらきかける必要性を強く感じる。契約・派遣等の非正規雇用ばかり増えても、給与・待遇面の悪さから、若者の秋田離れは増える一方ではないだろうか。非正規雇用者への正規登用のはたらきかけ、インターネット等を活用した就業支援の充実など、若者の声に耳を傾けてほしい。今後の秋田を担う若者に対する支援の強化、環境が向上することに期待したい。(女性/20歳代/仙北地域)

- 若者が働く企業が少なく、回りの若者がどんどん県外へ就職してしまう。自分の子どもも県内に就職してほしいが、どんどん人口が減少していくと、秋田にとどめておくのがかわいそうな気もする。大企業の誘致を積極的に行い、秋田でもできる仕事(インターネットを活用する企業など)がどんどん増えて、若者が県内で安心して仕事をし、結婚し、子どもを育てる、そんな秋田になってほしい。(女性/40歳代/秋田地域)

B. 農林水産業の振興に関すること

- 県のオリジナル品種など良いものがあるのに、販売が十分ではなく、お客様へなかなか認知されないため、価格も上がってこない。自分で販売できない人はあまり収益が上がらない。(男性/40歳代/平鹿地域)
- 若手農家、新規就農者への支援をもっと手厚くした方がよい。現在の農家の平均年齢が65歳?だと聞いたので、10年、20年後の農業界が不安に思います。(女性/20歳代/秋田地域)
- 秋田が無理なく成長できるように、水田、山林の農林業だけにこだわらず、発想の転換を図り、土地を別の産業に結び付ける方法を考えることにより、米に頼らず、多面に渡りチャレンジすることを考えるとよい。(男性/60歳代/雄勝地域)
- 秋田の自然環境を生かし、若者の職場づくりをしてほしい。農業では、水耕栽培(工場化で季候の影響が少ない)などを進めるときではないか。一方、農協の規格外食材などにより、市場に安定した供給を地元から提供してほしい。水産では、スーパーなどでひと手間をかければ、若い人も食する機会が増えると思う。地元のものも大切に。(女性/70歳以上/秋田地域)
- 秋田県には面白さがない。土地は広いのだから、第2の北海道となるように、農業に力を入れてみるのも可。米だけでは秋田の未来は暗いままだと思う。(男性/20歳代/雄勝地域)
- とりあえず米の生産、販売に力を入れてはどうでしょうか。たしかに、米を生産しても余るというイメージが強いと思います。しかし、それは国内の消費に対してだと思います。海外に売り込んでしまえば、米は絶対に余ることはありません。日本の米は世界で1番の品質です。高く売れます。おそらく日本全体が米を海外に売り込んでも、需要に供給が追いつかない状態だと思います。秋田県から先行してやってみましょう。(男性/30歳代/秋田地域)
- メガ団地を県内各地に整備し、通年生産や大幅自動化により、若者だけでなく高齢者も働かせてもらえるような施設があればよい。(男性/60歳代/北秋田地域)

- 農業は食料を生産するという命に関わる仕事であるにもかかわらず、経済的な面から見られることばかり目に付く。農業は利益的な面だけではなく、環境的にも大きな役目があると思う。秋田の多くの地域は農業を主として地域が成り立ってきたが、今後は今のような政策が続いていくと、多くの地域社会が成り立たなくなるのではないかと案じられる。(男性/70歳以上/雄勝地域)
- 米のブランドを増やすのも良いが、他県に比べると知名度が弱い。また、農家の労働は大変だが、その割には出費が多く、農家に直接入る収入は低いと思っている。農協の問題でもあるが、県でも何とかしてもらいたい。(女性/20歳代/仙北地域)
- 農林水産戦略について、ブランド化が不十分なように感じます。秋田のお米と言えば「あきたこまち」と県内外の方がお答えになるとと思いますが、その「あきたこまち」をどう食べるかという話となると、途端に話題が詰まるのではないのでしょうか。「桃豚」、「秋田牛」についても同様で、食材という段階でイメージが停止し、具体的な味のイメージや記憶と、ブランドイメージの結び付きが弱いという問題があると思います。ですから、これらの食材を利用した創作料理の研究と定着を図り、ブランド力の向上に取り組まれることを望みます。(男性/20歳代/秋田地域)

C. 観光・文化・スポーツの振興等に関すること

- 県立体育館の開放などを無料にしてほしい。もっと一般にも。(女性/30歳代/秋田地域)
- 秋田犬をシンボルとした観光キャンペーンについては、少々秋田犬そのものと接触できるスポットの案内が乏しいように思われます。秋田市の中心部に「犬カフェ」のような店舗を設置するのはいかがでしょうか。(男性/20歳代/秋田地域)
- ハピネッツはB2に降格したけれど、B1に上がるためにも、秋田の活性のためにも、絶対にアリーナや施設は必要。佐竹知事が知事のうちに造ってもらいたい。10年とか長いスパンではなく、早く実現できるようにしてほしい！沖縄などはアリーナができるようです。同じ県民球団として、同じくらい人気なのだから秋田にもできると思う！！(女性/30歳代/秋田地域)
- 東京のアンテナショップの商品の配置を見て、どの商品の売上げが良いのか一度考えてみる。消費者が購入したときのリサーチによって、どの商品の売上げがいいのかよく分かると思う。秋田はPRが他の県に比べて下手だと思う。心が優しい、温かい県と思われているので、あらゆるニーズを掴んでください。(女性/40歳代/秋田地域)
- 神奈川から来たが、秋田は温泉、自然が素晴らしいのにPRが足りないと思う。生まれたときからそばにあるから、良さがわからないのかな？また、観光地に行く交通手段が車以外見当たらない。せめてGWや竿灯、お盆の頃は、「はとバス」のような観光バスを出してはどうか？(女性/50歳代/秋田地域)
- スポーツに力を入れてほしい。プロチーム(ブラウブリッツ秋田、ノーザンハピネッツなど)に投資するべ

きだと思う。スポーツ観戦は若者もお年寄りも楽しめる。実際のスポーツで若者とお年寄りが交流するのは難しいが、試合観戦は年齢に関係なく楽しめるはずだ。(男性/10歳代/秋田地域)

- 国際交流や他県交流等、もっとたくさんの人でにぎわう県にしてほしい。秋田出身の有名人を起用することで宣伝力を高め、秋田県をアピールしてほしい。(女性/20歳代/秋田地域)
- スポーツ立県の点において、ジュニアや中学、高校などでは、県内で実力が認められても、全国規模においてはまだまだで、県外に出て成長する子どもたちも数多い。秋田県の指導者の育成も課題ではないか。(男性/50歳代/仙北地域)
- 家族旅行のツアーで何日かの滞在型を推進し、自然の豊かさを体験するようにし、再来する人が増えるよう企画などを進めてほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- 県外の人からすると、秋田県はやはり田舎であるというイメージが払拭しきれていないと思う。何か若者の好みそうな観光の振興が必要であると思う。(男性/10歳代/秋田地域)
- 私が高校生の頃、遠征先は毎年秋田でした。ソフトボールをやっていて、夏は能代、春は由利でした。大会会場も良く、宿泊施設のご飯も美味しいし、秋田は素敵だなという印象でした。今、嫁になって来てみた印象としては、もっと素晴らしい環境をアピールして、観光に力を入れればいいのになと思います。観光客だけではなく、住んでいる人も来やすいような所がほしいなと思いました。例えば、田沢湖の周りに大きな公園があれば、子供とお散歩や遊びに行けるし、周りのお店ももっとにぎわうのではないのかな?とか。地ビール祭りとかもオシャレにやってみれば良いと思います。客が来る時期に気合を入れるのではなく、最初から人が来る環境を作ることができれば良いなと思います。(女性/20歳代/仙北地域)
- 土崎の曳山行事では、人口も多く、担い手が多くいると思われるが、私の住む地域の「郷土芸能」と呼ばれるものは担い手が減ってきている。世界遺産登録されたものでも、全国では担い手不足のため休止している行事もあると聞くので、保存するための組織づくりへの補助を充実してもらいたい。このような行事が、秋田でしか味わえない体験につながり、観光にもつながるのではないかと考える。(男性/20歳代/北秋田地域)
- ブラウブリッツ秋田を応援しているので、まずはJ2昇格を目指して、スタジアム建設、イベント、応援グッズの販売店を増やすことに力を入れてほしい。プロスポーツチームが強くなり、メディアで今よりも多く取り上げられれば、子どもにも良い刺激になり、「教育・人づくり戦略」にもつながると思うので頑張してほしい。(男性/20歳代/由利地域)
- 秋田は竿燈やなまはげとよく耳にするが、他にはあまり聞いたことはありません。県内の人もあまり関心がないですね。案内の看板も目にすることがないようです。もっと目に付くような所にポスターを貼るようにすると思います。市内は特に多く目に付くように、デパート、飲食店等に協力していただくようにする。バスターミナル等は、観光案内のポスターを見たことがない。バスターミナルや駅等は宣伝するべきだと思う。(女性/70歳以上/秋田地域)

- 秋田県内を観光してみると、自然は豊かだけれど、他県のようにPRや施設の整備等があまりよくできていなくて、せつかくの物がもったいない感じがします。(女性/50歳代/仙北地域)
- 東北地方でも山形と並んで立地条件の悪い本県には、大型クルーズ船の寄港は観光地を紹介する絶好の機会だと思います。寄港の際には季節に応じもっとメニューを増やし、色々な場所を紹介できれば良いと思います。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 県外から移住して気が付いたこと。観光地への案内表示がお粗末である。ネット時代とはいえ、道路案内が分かりづらく少な過ぎる。観光地及び道中に廃業した店舗等がそのままになっていて、荒廃した印象がとても残念である。法律上難しいことは分かるが、条例等でどうにかできないものか。(男性/60歳代/秋田地域)
- 秋田で行われた六魂祭がとても良かった。秋田県内バージョンで行ってみてはどうでしょうか。(女性/50歳代/由利地域)
- 2020年の東京オリンピックの種目になったスポーツにもっと力を入れてほしい。秋田の魅力をもっと伝えてほしい。スポーツ王国になれるように若手の育成をしてほしい。(女性/10歳代/秋田地域)
- スポーツ立県、立市と言っていますが、球場や体育館をスポ少などに優先的に使わせてもらいたいです。スポ少野球では、せつかく予定していた球場がシニアの大会のため変更されてしまったことがあります。スポーツ立県ということなら、まずは子供たちが良い環境でスポーツをやるようにしてもらいたいです。(男性/40歳代/平鹿地域)

D. 交通ネットワークの整備、地域交通の確保に関すること

- 秋田県北部と青森県南部をつなぐ道路を整備してほしい。八幡平と十和田湖を結ぶ公共交通機関がない。(女性/60歳代/鹿角地域)
- 主人が高齢でまだ免許返納しておらず、近い所のみ運転しておりますが、返納後を考えますと、二人きりの生活の買い物、病院通いなどが大変と思われれます。コインバス等も利用できるとは思いますが、バスの運転本数も少ないですし、停留所も遠く、今から先のことを心配いたしております。乗り合いタクシーもあるそうですが、もう少し詳しく知りたいものです。(女性/70歳以上/秋田地域)
- 秋田道を完全2車線にしてほしい。夜間は暗く、とても危険である。事故防止のためにも、カーブ(特に勾配のある所)に外灯がほしい。県外の人にも秋田は暗いと言われる。(女性/50歳代/秋田地域)
- 子供が盛岡で暮らしているのでよく行きますが、交通ネットワークが大変整備されており、秋田との違いに驚きます。生活バス路線が整っていて、100円バスがあり、子供から老人まで誰もが気軽に利用でき、駅前

もにぎわっています。秋田市、盛岡市ともに人口 30 万人前後なのに、違いにびっくりすることが多いです。若い人を秋田に残すためにも、利便性の良い交通ネットワークを考える必要があると思います。(女性/50 歳代/秋田地域)

- 家族が県北にいるため、移動手段に大変不便を感じています。金額の安い高速バスも秋田市止まりで、その先は電車の乗り継ぎも 1 時間待ちになり、1 日がかかりになっています。県外への交通の拡大も良いのですが、最低でも県内の交通の便をもっと充実させていただきたいです。(女性/50 歳代/雄勝地域)
- 新幹線の線路を見直し、東京まで 3 時間くらいで行き来できるようにしてくれたら、企業も増えると思います。時間やお金がかかっても、中途半端はやめてほしいと思います。(女性/40 歳代/秋田地域)
- 渋滞が頻繁に発生している。新道を建設できないならば、対策として高速道路の無料化をしてほしい。例えば、秋田南 I C ~ 秋田北 I C など。(男性/50 歳代/秋田地域)
- 駅・バス停から商業施設や医療機関への 2 次アクセスを充実するため、乗り合いタクシーや送迎バスの充実を図ってほしい。同じく観光地でも、鉄道沿線から遠い場所でも立ち寄ってもらうための交通手段を確立してほしい。(男性/20 歳代/北秋田地域)
- 交通手段の確保は、高齢者の通院にも重要です。また、移動に欠かせない車ですが、費用もかかるため、通勤手段としても交通手段が少ないと困難です。自家用車がなくても金銭的、時間的に負担の少なくなる代替手段があると良いなと感じています。(女性/20 歳代/山本地域)
- 道路状況は整備されつつあるが、新幹線、特に隣の山形県から仙台へとつながる路線が完成されると来やすいのでは。(女性/70 歳以上/秋田地域)
- 交通網の整備に力を入れてほしい。特に電車による移動が困難であります。東京方面に行くにしても、直通の電車がなく途中で乗換えしなければなりません。奥羽本線と比べて羽越線は遅延があり、新幹線もなく、道路にしても高速道が中断されて利便性に欠けており、これらの整備が急務であります。大型の災害が発生すると、物資の搬送にも大きな不便が起こります。(女性/70 歳以上/由利地域)
- 日沿道全通。(男性/50 歳代/由利地域)
- 観光客誘致をするのであれば、それなりに交通の便を良くすることが必要だと思います。高齢者も多いので、車を利用しなくても移動できる手段を考えなければいけないと思います。生活している人が不便と感じているのだから、観光で来てくれた方々はもっと不便に感じると思います。(女性/40 歳代/秋田地域)

E. 健康、医療、福祉に関すること

- 私自身が身体障害者なので、バリアフリーの充実を望みます。また、障害者用スペースに駐車できないこと

が多いため、その対策を考えてもらいたいと思います。(女性/50歳代/平鹿地域)

- 現在住んでいる県南では医療体制が整っておらず、乳がんの場合、自費での健診さえ断られている状況です。都会では助かる命が、秋田では助からないのは悲しいです。疾患によっては、関東で治療を受けている方も想像以上に多いと思います。救急の場合はあきらめるしかないのは悲しいです。医師の確保を病院に任せるのではなく、積極的に県に介入してもらい、等しく医療を受けられるよう早急に対応してほしい。(女性/40歳代/不明)
- 介護等にもっと力を入れてほしいです。私は介護の仕事をしているのですが、人が足りなく介護スタッフが欲しいと思います。(女性/30歳代/平鹿地域)
- 健診の無料化、テレビ・ネットでの健診の呼びかけ。分煙(飲食店完全分煙)。(女性/20歳代/秋田地域)
- 障がいがある人の就労先を増やしてほしい。また、企業が障がい者雇用をしたあと、その企業をサポートする体制の強化を図ってほしい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 少し前からボランティアに参加しています。そこで秋田県の貧困率に驚きました。市民団体だけでは対応できないほどの支援者さんからの電話が、毎日のように来ます。県に少し協力していただきたいです。(女性/40歳代/秋田地域)
- 成人以上の障がい者が行ける施設はたくさんあるが、高校卒業後すぐに入れる施設があまりないと聞きます。あっても、2か所掛け持ちをして通所しなければならない。医療的ケアが必要な人は更に行く所が限られるなど、子供の将来が不安です。医療の進歩で障がい者が増加しているため、自分の子供が卒業するときは、今より受入人数が少なく厳しくなりそうです。医療的ケアが受けられる新たな施設を増やしてほしいです。(女性/30歳代/秋田地域)
- 友人・知人に視覚障害者や車いす生活者がいて、バリアフリーに不安を持っています。点字ブロックは、車いす使用者には段差等の障害があり、視覚障害者にとっては杖では判断しづらいことがあり、行動をためらっている現状がありますので十分な改善を期待します。(男性/60歳代/秋田地域)
- 私の実家の方では在宅医療体制が整っていてとても助けられました。今住んでいる地域でも同じような体制ができているのか心配です。(女性/40歳代/秋田地域)
- 高齢化社会に伴い、健康寿命を伸ばすための推進活動に力を入れてほしい。高齢者に対しての、日常生活行動(食・運動等)についての知識、アドバイスの実施や、スポーツ・文化施設・入浴施設利用の無料化で、活力ある高齢者の環境推進に努めてほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- 福祉関係で働く人たちへの十分な手当。福祉施設等での仕事は、大変さの割には給料が低い。そのため、人員不足で働いている人たちの精神状態が良くない。(女性/30歳代/山本地域)

- 貧困家庭への支援をもっと強めてほしい。給料が少ないのに周りの商品や税金などばかり上がって成り立たない。(女性/20歳代/北秋田地域)
- 日照量の少ない所は自殺率が高い傾向にあるが、うつっぽくなる人が多い。周囲でも若いうちから精神的に悩む人がある。子供の頃からの対策をお願いします。(女性/30歳代/北秋田地域)
- 地域医療の充実。遠方へ足を運ばない高齢者でも、近場で充実した診療が受けられるように。(女性/40歳代/平鹿地域)
- がん治療にも補助金を出してほしい。(女性/30歳代/北秋田地域)
- 秋田県のがん死亡率や医療費の高さは、高齢化だけでなく、県民の文化、風土的な土壌や心がけが欠けていることに起因している。限りある社会保障を有効活用するためにも、サービスを拡大するだけでなく、応益負担を増やすことも検討し、県民の啓発活動に積極的に取り組んでほしい。(男性/30歳代/秋田地域)
- 健康で働けるための人間ドッグ助成。(男性/50歳代/仙北地域)
- 自殺予防対策の強化。民間の意見を取り入れ、行政の自己満足にならないようにしてほしい。(男性/30歳代/秋田地域)

F. 教育、人づくりに関すること

- 図書館を充実させてほしい。今も県立図書館などはそこそこ充実していると思うが、物語も専門書も様々な種類の本を揃えてほしい。(女性/20歳代/秋田地域)
- 学力向上は大切ですが、それだけではなく、やはり人間の道徳・倫理は基礎だと思います。頭とともに心が大切だととても思いますので、学校での道徳・倫理の教育を小さい頃からしてほしいと思います。(男性/60歳代/秋田地域)
- 特色ある高校に最新機械を導入し、他県から越境留学したくなるような教育体制を作る(最新農業機械や、水産関係における養殖技術の最先端システムの導入など)。(女性/40歳代/秋田地域)
- 専門的な学校がない。工業系の教育機関しかないので、これでは他の仕事を学びたい人たちは県外に出るしかない。(女性/30歳代/北秋田地域)
- 高等学校のコース選択により、大学の学部選択も決まってしまう、それが就職にもつながるということがあるようです。多様なコースがあれば、大学卒業後もまた選択できると思いますので、高等学校の統合などばかりしてほしくありません。(女性/50歳代/平鹿地域)

- 全国的にレベルの高い教育アイテム・手法の水平展開・強化を更に充実させ、秋田の旗印として頑張ること。全国レベル上位にいる今がチャンス。これを材料にして秋田の活性化を推し進めることが有効。(男性/60歳代/仙北地域)
- 英語教育に力を入れてほしいです。学力トップの秋田県ですから、英語教育においても全国に先立って頑張してほしいです。秋田の子どもは英語で日常会話ができるようになることを希望します。(女性/40歳代/北秋田地域)
- 農業体験等は、都会の子供たちにさせる前に、もっと地元の子供たちにさせてほしい。(女性/50歳代/秋田地域)
- 教職員の指導力向上のため研修を重点的に行ってほしい。優秀な子供の育成を図ることが、将来あらゆる面の向上に資すると思うので。(男性/70歳以上/山本地域)

G. 人口減少対策全般、若者等の県内定着、移住・定住の促進に関すること

- 東京在住の知人が、秋田の特産をPRしているイベントや広告をこの頃よく見ると話をしていました。うれしいと語っていました。何らかな事情で県を離れたとしても、秋田に戻りたいと思ったとき、温かく受け入れる、「心」にも語りかけられる何かがあると良いと思います。(女性/40歳代/不明)
- 人口減少が続くと、そのうち秋田県そのものがなくなってしまうのではないかという危機感があります。県外の大学に行き、秋田県内に就職したいと思っても、なかなかできないのが現実です。県外に一度出て、やはり秋田が良いと秋田の良さを再認識しているのに、何度試験を受けても受からないのでは悲しくなります。是非、大卒の就職できる場所を増やしてほしいと思います。(女性/20歳代/秋田地域)
- 県内の大学に行く家庭に補助を出したり、県外の大学でも、県内より低くて良いので補助が出るようにしてほしい。家庭にとって大きな負担なので、大学の学費が出る県というのは魅力的だと思う。県内の大学に進む人が増えれば、県内にそのまま就職する人も増えるかもしれないと思う。(女性/40歳代/仙北地域)
- 若者たちの県外流出により、人口の減少に歯止めがかかっていない。仕方ない部分はあると思うが、その人たちが帰ってきたときの受入体制をもっとしっかりしてほしい。例えば、奨学金の返済を一部補助するだとか、家賃の補助など、生活していく上での手助けが足りないと思っている。(男性/40歳代/秋田地域)
- 若者が移住するために何を増やしてほしいかアンケートをとるべき。駅前が活性化されていない。電車やバス、交通機関の時間が少ない。無駄にコンビニの駐車場が広い。冬の除雪が下手。(女性/30歳代/秋田地域)
- 自然豊かな秋田をPRして、全国・世界に向けて情報発信をし、活性化をしていただきたい。人口流出に頭を抱えるだけでなく他県の取組などを参考にして、広い視野でのPRをして、移住・定住を促進してくだ

さい。つまらない秋田に住んでいるよりは、楽しく明るい秋田に住んでいたいと思います。(男性/40歳代/山本地域)

- 高校生の地元企業への1か月の職場体験の義務付けを実施する。(男性/70歳以上/秋田地域)
- 県外の大学を卒業して、秋田県内どこかの企業に就職しても、条件を付けず奨学金の返還をしなくても良いことにしてほしい。(女性/50歳代/秋田地域)
- 県内大学と企業による連携。県立大学の県内高校生の募集枠を増やす。他県出身者が卒業しても県外に就職してしまうのでは？ 県内企業にも自社の特色、成長性などをアピールしてもらう。県内高校生に対し大学、企業への体験入学・実習等の実施。(男性/60歳代/由利地域)
- 人口を増加させることを第一に考えてください。人がいないと何もできない。経済力も低下。まず、親が秋田には良いところがない、県外に子どもが出て来ても良いとする風潮がある。秋田では、仕事などでストレスがたまって、少し車を走らせるとブナの森(鳥海山)で森林浴ができて、滝もいっぱいあって、マイナスイオンも浴びることができ、リフレッシュできます。春は花見、夏は海水浴、秋は紅葉(八幡平、小安峡)、冬はスキー(森吉山で雪のモンスターを見ながら)、贅沢です。良い仕事さえあれば、若い人が夫婦で働いて、一戸建ても購入できます。「秋田に住む」の売りになりませんか？(男性/50歳代/秋田地域)
- 私は県外出身で、転勤で秋田にやってきました。10年以上住んでいますが、不便なこともあるものの、楽しく暮らしています。残念なのは、人口の流出が止まらないこと。移住・定住も良いのですが、若い人が進学などで出ていっても、いずれ戻ってくるような社会にすることです。都会にはない良いところがたくさんあるのに、それに気付かず出ていってしまうことが少しでも減るようになれば良いかと常々思っています。雇用、出産・育児、医療。これらが最低限充実していないとどうにもなりません。(女性/40歳代/仙北地域)
- 高校卒業後、県外の大学に進学し、そのまま就職するケースが非常に多く、それが人口減少につながっている。一度県外に出てしまうと、秋田県の取組等の情報が入って来にくくなるので、高校生のうちに「県内に就職したい!」、「県外の大学に行くが、卒業後は秋田に戻って来たい!」と思えるような魅力を発信していくべきだと思う。(女性/30歳代/平鹿地域)
- 2016年に生まれた赤ちゃんの出生数が100万人を下回り、秋田県の人口と似ていると感じました。人口減少は地方の悩みです。秋田県は自然と土地の豊かさ、物価と土地の安さも魅力です。そこで、年金受給者の皆様に、第2の人生として住んでいただくようになれば素敵だと思います。(男性/70歳以上/山本地域)
- 秋田に移住して2年になります。暮らしやすい地域であるなと思っています。衣・食・住と生活の基本を考えたとき、衣・食は満足できる状態にありますが、住はなかなか厳しいものがあります。アパート代は、首都圏並みですし、一戸建て、マンション等も土地が余っている割には、高い気がしております。街には空き家が目立つのですが、これを上手く活用して、不動産代の低下につなげられないものでしょうか。(男性/50歳代/秋田地域)

H. 少子化対策、子育て支援に関すること

- 我が家の2番目の子どもはH27.7月産まれ。第2子以降の保育料無料は対象外。不公平。全国トップレベルの助成と言っているが、家はその恩恵を受けていない。(女性/30歳代/秋田地域)
- 母子家庭への援助にもっと力を入れてほしい。秋田市とその他地域の格差が大きく、他の市町村にももっと目を向けてほしい。貧困のために子どもが進学をあきらめなくてはならないというようなことがないようにしてほしい。(女性/40歳代/由利地域)
- 子育て支援について、幼少期は医療費や児童手当など支給があったが、本当にお金がかかるのは高校～大学の時期である。人材育成の面から見ても、この時期の助成が欲しかった。(女性/40歳代/秋田地域)
- 0歳児の保育園入所が難しかった。入園人数を増やすために保育士の確保をしてほしい。育休延長しなければならず、大変困っている。(女性/30歳代/鹿角地域)
- 独身者が多いので、仕事が忙しくても気軽に参加できる催しとかイベントなどを考えて行っていただきたいです。なかなか難しいと思いますが、実現していただけたら幸いです。(女性/40歳代/由利地域)
- 平成27年度に宇都宮から引越して来た我が家ですが、一番困ったことは子どもの医療費です。宇都宮では、中学生まで医療費が無料でしたが、秋田では自己負担が一つの医療機関につき1,000円。我が家では、アトピー、ぜんそく、眼鏡と処方箋が出ると、薬局でそれぞれ1,000円ずつ、MAX月々6,000円でしたが、下の子も小学生になり、マル福が切れると、兄妹で大変負担が大きくなります。アトピーもぜんそくも、薬を止めるという選択肢は選べません。医療費の無償化を何とかお願いします!!!(女性/30歳代/秋田地域)
- 子育て環境の改善には取り組んでもらいたいが、一方で、少子化は人口減少の流動の中での一つの現れであり、これが時代の流れとも言えるものだと思う。だから、少子化が進むことは、ある程度防ぎ得ないものとの覚悟が必要と思う。少子化を止めるには、国政の改革が求められ、県は国に対して注文を付ける態度が必要である。(男性/60歳代/雄勝地域)
- 若い人たちが出会う場所、機会を創出・支援してほしい。秋田に来たら、若い夫婦が2人、3人と子どもを出産、子育てできるような秋田をつくってほしい。(男性/60歳代/秋田地域)
- 子どもが成長すると、必要なお金も増えます。そのため、子育てをしながら働いておりましたが、子どもの急病で休んだり、早退できる状況ではなく、そのような場合、周りから迷惑がられることも多いです。であれば、融通が効く企業に勤めれば良いが、選択肢は狭くなり、やりたいと思うこともできず、仕事と育児を両立しているとは言えないと思います。少子化が問題視されている現在、子どもを育てている世代の方たちが、肩身の狭い思いをして働くことに疑問を感じます。全ての企業が子育てをしながら働ける工夫をしてほしい。

(女性／30 歳代／秋田地域)

- 医療費助成拡大は評価できるが、主に「第3子以降」が多い。もう一步。子どもの減少が著しい。(男性／40 歳代／秋田地域)
- 若い夫婦が1人でも多く子どもを産む環境を整えてほしい。子どもを地域で見守るなど、若いお母さんたちが安心して子育てできる社会になってほしいと思います。子育て支援は色々やっているようですが、保育料は第1子から無料にしてほしいです。(男性／60 歳代／平鹿地域)
- 働くお母さんのために子供を預かって見てくれる施設が少ない。病後児や、学校が終わった後スポーツクラブに行くまでの間、休日や祭日の大会や行事などでどうしても育児をすることが大変なときなど、もっと受け入れる所が増えてほしいです。(女性／40 歳代／平鹿地域)
- 会社経営者側に理解がないと休めない、病院に検診にも行けない、気を使うといった状態だと聞きました。まずは、男性の方々の考え方が一番なのではないか。いくら予算を置いても子どもは増えないのでは。ニュースを聞いて、いつも違和感があります。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 子育て支援で、3人目を産めれば保育料が無料など、3人目を産まないで支援の恩恵を受けた感じがあまりありません。現在子どもを2人育てていますが、保育料が2人分で約40,000円と高めなように思います。日々の生活が苦しいので3人目を考えられません(出来るなら産みたいですが)。保育料の値下げを検討していただきたいです。3人目も半額で構わないので。医療費助成も、2～3歳まで無料だと嬉しいです。小さい子どもと一緒に、会計で支払い中に子どもが離れて行ってしまったり、抱っこしていたりするとお金を払うのが大変です。収入で保育料等が決まっていると思うのですが、住宅ローンや車の維持費、固定資産税等で、生活が大変です。支払っている税金の額も考慮して、保育料等を決めていただきたいです。(女性／20 歳代／北秋田地域)
- 若者の非婚率が急増していて、少子化が現実化している。県としても力を入れてほしい。(男性／50 歳代／秋田地域)
- 秋田の人口減少がやはり心配です。男性も育児に参加するようになったとはいえ、子供が具合が悪い場合などは、どうしても女性の負担が多くなるように感じます。働く母親が多い中、そのような場合、休みが取りやすい職場環境が今以上に必要だと思います。(女性／50 歳代／由利地域)
- 赤ちゃんと出かける場所が少ないと思います。秋田市だと色々あると思いますが、北秋田市のようなところに住んでいると、ずっと家にいるしかないような環境にいました。周りのママ友もそう話していたので、何とかしてほしいです。(女性／30 歳代／北秋田地域)
- 私は秋田県で生まれ、秋田県で育ちました。秋田県が好きです。ここで出産し、子育てをしたいと思っています。私はまだ独身ですが、職業は保育士をしていて、保育所を利用する家庭にとって出産や子育てのしやすい環境が整ってほしいです。都会では保育所不足、保育士不足、待機児童と騒がれていますが、保

育士が不足する理由として給料のことが挙げられると思います。県に力を入れてほしいことはもちろんですが、国にももっと目を向けてもらいたいと強く思います。(女性/20歳代/由利地域)

I. 男女共同参画、女性・若者の活躍支援に関すること

- 女性の働く環境の向上。子どもを産んでからも働き続けられる、周囲の環境が整うようにしてほしい。働いて育てられるなら、たくさん子どもを産む人もいる。例えば、産休、育休を法定通り取って、休業前と同じ業務に戻れる会社は少ない。子ども1人産んで復帰となるとOKだが、2人目、3人目だと復帰しづらく、自然と退職を促されるなど。会社に助成金を出したり、優良企業として表彰したりするのはどうでしょうか。(女性/40歳代/秋田地域)
- 若者に対しての就業支援をしてほしい。Aターン等で帰って来ても限られた業種の職しかなく、思うように職を得ることができなかつたりするので、講座などを開いて支援をしてほしい。(男性/20歳代/北秋田地域)
- 女性議員の数を一定以上にしてほしい。その取組を日本で初めにやる県になってほしい。(女性/50歳代/秋田地域)
- 働きたくても、心や体に不調があり働けない若い人が身近に増えているように感じます。本人もその家族も将来に不安を強く感じています。そのような若い人に対して、心や体の調子に合わせて働ける場所を増やしてほしいと思います。そして、そのような人がいて、生きづらさを感じながらも一生懸命頑張っているという理解も広がってほしいです。どうか県から支援の和を広げてください。(女性/30歳代/仙北地域)
- 印象として、子供や高齢者への対策はある程度整っている気はしますが、中高生が秋田県に興味や意欲を持てる様なイベントであったり、20、30代が中心となった企画や政策ということに関しては、やや希薄な気がします。子供は子供、高齢者は高齢者と区切った対策ばかり目立つとでも言えば良いのでしょうか。もちろん、それはそれで重要であることは分かっているつもりですが、変に区切った対策ばかり行っていると、単発的になり、いつか手詰まりになってしまうような気がします。連動性を持たせるため、また、子供と高齢者をつなぐという意味でも、中高生や20、30代の人を中心としたイベントがもう少しあっても良いような気がします。(男性/40歳代/山本地域)

J. 地域社会の維持・活性化に関すること

- 中核となる秋田市へは、様々なものについて県・市連携を図り、中心市街地のにぎわいづくりに努めてもらいたい。(男性/20歳代/秋田地域)
- 中心市街地を活性化する施策。湯沢市の中心市街地でお店を運営していますが、近年空洞化が激しいです。(男性/40歳代/雄勝地域)

- 空き家の解体に補助を出してほしい。(男性／60 歳代／秋田地域)
- 県南に住んでおりますが、駅前がシャッター通りとなっていて、にぎわうのはお祭りのときだけです。もっと駅前が活性化するようなまちづくりを考えていただきたい。(女性／50 歳代／雄勝地域)
- 除雪！！ 県外から移住して来た人の話では、最初はきれいに見えたが、3年も経てば見たくなくなるそうです。(男性／50 歳代／山本地域)
- 郊外に住んでいるため、車がないと買い物も不便です。一番近いコンビニが車で5分ほどです。スーパーは車で15分ほどです。年齢が上がるにつれて、運転もやめた方が良いと言われますが、とても無理だというのが現実です。最近よく聞く“買物難民”になるのもそう遠いことではないと感じています。(女性／60 歳代／秋田地域)
- 地域を良くしようと努力している団体、個人に対して支援していただきたい。県庁職員には、一個人として、休日等に地域の人々と協力して地域活性化に参加していただきたい。(男性／60 歳代／雄勝地域)
- 道路除雪の地域差があるので、対策をしてほしい。(男性／20 歳代／秋田地域)
- 路線バス廃止等で地域の足がない。除雪に対する労働力、燃料、その他に対する費用の補助等が必要。子供と老人の住みにくい環境では人は定住しない。(男性／70 歳以上／仙北地域)
- 高齢者でもできる、在宅でタブレットを使った買い物のシステムがあると、公共交通機関の充実していない地域ではとても助かると思います。(女性／50 歳代／雄勝地域)

K. 県土の保全、防災に関すること

- 異常気象により、雨が多くなっています。大きな河川には力を入れて直していますが、本当に危険なのは小さな河川です。雨が降ると、夜眠れないのです。道路と川が水で溢れ、避難は全くできません。(女性／60 歳代／秋田地域)
- この場をお借りして、以前より思っていたことを申し上げます。防災関連ですが、各市町村で作成しているハザードマップ等は浸透していないように思います。地震・津波・大規模災害が起きた際、自分の避難する場所（主に小学校等）がどこなのか理解している人は少ないです。マップを作成しても、見る人の知識・理解がないと、宝の持ちぐされかと思えます。(女性／30 歳代／秋田地域)
- 廃止となった公共建築物が財政上の問題のようだが、市内に取り壊すことができず、そのまま設置され老朽化して危険箇所となっている施設がある。学校や水道施設等だが、国か県が早期取り壊しができるよう市に財政的な支援を行う制度をつくるなど、対策を進めてほしい。事故等の危険防止のためにも是非お願いしたい。(男性／50 歳代／平鹿地域)

- 色々な災害に対する知識を得るための機会があれば良いと思います。自治体などの救済は万全ではないので、いざとなったら自分らが何とかできる。そういう知識を得る機会があれば良いと思います。(男性/30歳代/秋田地域)

L. 環境保全、自然保護に関すること

- リサイクルのため、冊子等も紙ゴミとして出しています。出来るだけホチキス留めをしない冊子にしてほしいです。そのまままとめて紙ゴミとして出せた方がリサイクルしやすいので。(女性/40歳代/秋田地域)
- 海岸漂着ゴミについての質問があるが、我々が毎日使用している水路、川、海等の水辺にもゴミがある。これは水害によるものもあると思われるが見苦しく、少ない方がよい。(男性/60歳代/雄勝地域)
- ゴミの分別の徹底させたり、道路等への煙草、空き缶等のポイ捨てをやめさせるようにしたり、川へのポリ袋やゴミ捨ても多いようですので、パトロールを強化し止めさせるようにし、地域をきれいにすると環境も良くなります。これだけでも、観光客が来県されたときに秋田県の評価が上がり、イメージアップにつながるのではないかと思います。(男性/50歳代/平鹿地域)

M. 安全・安心な生活環境の確保に関すること

- これからの秋田県はどんどん人口が減っていくので、さらにコンパクトシティのまちづくりが必要だと思います。秋田市で言うと、秋田駅など中心市街地にもっと人を集めて、にぎわいをつくってください。(男性/40歳代/秋田地域)
- 通学路の整備。朝は土手を自転車で通学するが、帰りは部活動があり、暗くなってからの帰宅になる。土手には街灯がなく、歩道がない狭い道路を帰ってくる。(女性/30歳代/仙北地域)
- 犬や猫など動物の殺処分をなくしてほしいです。(女性/10歳代/秋田地域)

N. ICT・科学技術の振興に関すること

- 第4次産業革命とも言われていますが、現在のAIを中心とした科学技術の大発展により、秋田県にとっては今後5年～10年を左右する岐路に立っていることをまず認識すべきではないかと思います。秋田県の高齢化、人口減は逆にチャンスであり、県内のあらゆる産業(農業、工業など)は最先端の科学技術を使い、また、開発し徹底的に変革すべきですし、そのような新たな産業(ベンチャー)を支援、もしくは邪魔しないようにしてほしい。(男性/40歳代/由利地域)
- 各種手続きの電子化による事務負担の軽減。(女性/20歳代/秋田地域)

- 科学技術が日々進歩していることで、我々の暮らしは便利になってきていることから、ビッグデータやA I、情報通信技術といった最先端の科学技術を全国に先駆けてあらゆる面で取り入れていくことが、今後の会社変革に秋田県が着いていく上で必要となってくるのだと思います。このことから、情報通信技術等の最先端の科学技術の取り入れや、これらのことに注目していくことに力を入れてほしいと考えています。(男性／20 歳代／秋田地域)

○. 行政全般に関すること、その他

- 活動しておられる内容の一つ一つは素晴らしいと思います。それを有機的につなげて、県行政全体として方向性を出せずにいることが問題ではないでしょうか。この県の 10 年後、50 年後をどうしたいのか、そのために今何をすべきなのか、私には見えてきません。これは「長」の付く役職の方々と、将来「長」が付くであろう方々が、もっともっと語ってほしいと思います。(男性／50 歳代／山本地域)
- 具体的な事業の希望はないが、何事においても正確に効果測定をし、広く県民に周知してほしい。問 1 の内容について、ニュースや新聞を通して承知しているが、効果測定や、それに基づいた P D C A が回っているように思えない。(男性／30 歳代／秋田地域)
- 秋田県の良いところはたくさんありますが、それを引き出すことが上手く出て来ないような・・・何かアイデア不足というような・・・もっともっと引き出しを広げて、P R を大げさになるくらい頑張してほしい！ 秋田県は住みやすく、ゆったりとした人々がいると思う。県民性と言ったら良いのか、その殻を破るべきかも。秋田県の活性化には、時間はこれからかかると思うが頑張してほしい。協力していきます。(女性／60 歳代／平鹿地域)
- 人口減少に伴う生活全般の変化に対応するため、県としての具体的なビジョンを正直に県民に早い段階で指し示し、県民がこれから取らざるを得ない状況、行動等、又は努力しなければいけないこと等を県として力を入れて考えてほしい。(女性／50 歳代／北秋田地域)
- 調査の質問が分からないことばかりでした。色々と力を入れているのですが、県民側にはあまり伝わっていないような気がします。(女性／40 歳代／平鹿地域)
- 結果に対して満足度が高すぎるのではないかと。短期で評価するのではなく、長期での評価が必要。情報共有も短期であり、それにより長期的に継続できないのではないのでしょうか。県民がもっと感心できるような情報提供が必要と思われます。(女性／50 歳代／秋田地域)
- 今回の意識調査に取り組んで、特に「第 2 期ふるさと秋田元気創造プラン」の取組に関することについての項目で、「こんなことにも取り組んでいたんだ」と改めて気付く結果であった。この調査を機に、自分のことであることを自覚し、もう少し関心の範囲を拡大する必要性を痛感した。(男性／60 歳代／秋田地域)

- 県のあらゆる取組はニュース等で知って、「なかなか頑張っているなあ」と思っている今日この頃です。秋田犬の利用は「ああ、やっと取り入れてくれたか」とみんな思っていたことですが、私を含め秋田県人の県民性で、思ってもそれを提案するとか、はたらきかけるところまで行動しないのが良くないところだと思っています。今大体幸せなら、自分が良ければそれで良いかなという考えが多く、困った県民性だと思っています。それが未婚率大、少子化につながっていると思います。(女性／50歳代／秋田地域)
- 全ての政策に成功もしくは向上の実感がない。だから、最低でも現状維持できるような県政運営をしてほしい。(女性／30歳代／仙北地域)
- 秋田でなければ出来ないこと、事業はまだまだあると感じています。他県(北東北3県)との連携も視野に入れることで様々な分野が拡大できるのではないのでしょうか。秋田の可能性に期待しています。(女性／40歳代／北秋田地域)
- 効果の薄い事業を積極的にやめること。(女性／20歳代／秋田地域)
- 県の政策が県民に見えない。秋田市在住で、秋田市の政策等には関心を持って、見て活動している。講演会、研修会、フォーラム、地域活動に積極的に参加している。今は月5回程度出ており、大変参考になる。県の場合は、終了後新聞報道で知り、ほとんど開催後なので残念である。(男性／70歳以上／秋田地域)

